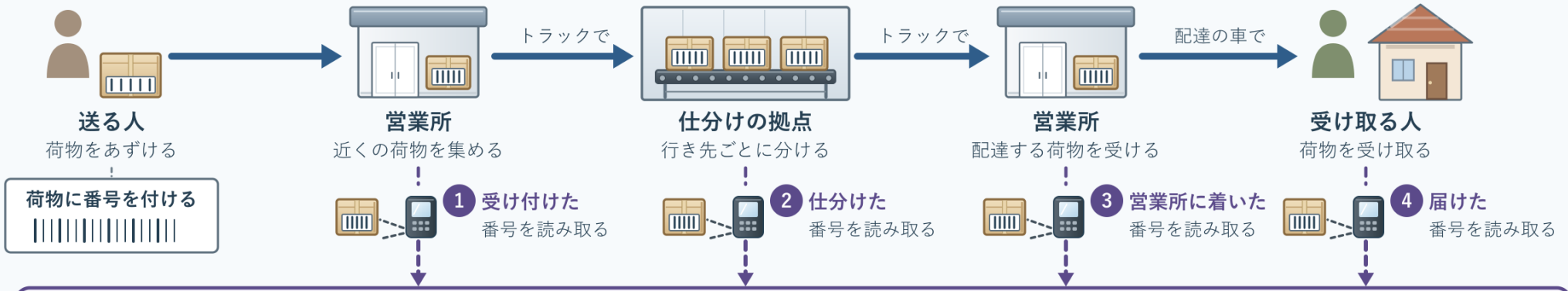
荷物と一緒に情報が動く運輸のしくみ

宅配便の荷物は、情報を使ってどのように届くのかな。情報があるとどんなよいことがあるのかな

① 荷物が動く

荷物の流れ　情報の流れ



② コンピューターに情報が集まる

荷物の番号・いつ・どこにあるかを次々に記録する

名前や住所などの大切な情報は、守って使う

③ 情報を使うと

受け取る人

- ✔ 荷物が今どこにあるか、スマートフォンなどで分かる
- ✔ 届く日時を変えられる

日時を変える連絡は、情報として会社にもどっていく

送る人

- ✔ 荷物が届いたことを確かめられる
- ✔ 止まった場所を調べられる
- ✔ 届く日の目安を相手に伝えられる

運ぶ会社

- ✔ 荷物の量に合わせて、仕分けの人やトラック・運転手の数を決める
- ✔ 届け直しや遅れをへらす
- ✔ 荷物のまちがいを見つけやすい

荷物の番号で調べると（例）

番号 1234-5678（例）

1	1日 16時	受け付けた
2	1日 23時	仕分けた
3	2日 7時	営業所に着いた
4	2日 15時	届けた

※ 架空の会社の例の模式。番号・日時は例で、読み取る場所や情報の使い方は会社によって違う。